

刺し網の使い方

202307

刺し網法は安価・長寿命・手間いらずのため、素人でも長年の間継続的にハブを減らせる手法です。50mあまりの網は一部の日糧大工店で販売、家庭用7mの網は西村（☎ 090-3792-9633 数世帯がまとまれば設置指導可）や一部の役場で、無料配付中です。地域ぐるみでハブが減ります。

長さ約7mの網（25mm目）を切ると、1m前後の小型刺し網が5枚以上できます。ハブが出た屋敷や畑と林等との間等に小型を5枚程設置すると、大きいハブが平均で1年間に1匹以上捕れます。ハブの半数は朝までに死にますが、一部はしばらく生きています。設置地点を選ぶ必要がありますが、小さい子供がいなければ庭にも設置できます。見回りは年2回程でよく、網は一部が破れても構わず、耐久性は10年以上あります。

注意：危険性の責任は利用者が持ちます。刺し網は侵入防止用ではなく罨です。

ワイヤーメッシュを使った小型刺し網が、設置と移動が容易で網も安定し、かつハブの捕獲率が高いです。はぎれのワイヤーメッシュが無ければ、ホームセンターなどで可能なら6mの1/4を購入し、その場で使用サイズに切ります（突起を残す）。針金、鉄筋、立ち木等でも張れますが、不安定で短寿命です。小型を含む刺し網の材料や利用法の詳しい説明は、ホームページ <http://snakehabu.web.fc2.com/> 内の刺し網のページをご覧ください。



ワイヤーメッシュを使った小型写真は75×30cmの大きさ（15cm目、突起付き）。長さは60～150cm、高さは20～45cmが妥当。突起は地面に刺す下部を長めにし、大きめに切った網を1重か2重に緩く引っ掛ける。ワイヤーメッシュは10cm目でも廃棄品でもよく、10年間以上使用可能。小型1枚で4ヶ月間にハブ2匹の捕獲例あり。

設置と管理

1. ハブの危険がある林縁部などに（危険なら数メートル林内に）、小型5枚以上を数メートル離して設置します（倒れやすければL字型に）。
2. 見回り時に下の枯葉を除き骨を探します（数年間捕れなければ移動）。生きたハブが絡まり、放置が危険でかつ地元での回収依頼が不可能なら、棒でたたか、ハブ用スプレーをかけます（生け捕り厳禁）。死んだハブは放置するか生ゴミとして処理し、臭えば林内等へ移します。

「ハブが捕れない」場合

- 小型刺し網5枚以上を、適切に1年間利用されましたか。倒れた網や数ヶ月間の利用では、不十分です。
- ハブはまもなくばらばらの小さい骨となり草や枯葉に紛れて捕獲に気づかない場合があります。網の下の骨を探しましょう。
- ハブの捕れ方には、むらがあります。「1年で1匹以上」は平均値で、数匹捕れる地点と捕れない地点があります。設置から2、3年後に初めて捕れる場合もありますので、移動させながら気長に利用してください。



ハブ用刺し網（無料）

202307

自分で 屋敷や畑のハブを退治 できます。

林などが近ければ 目撃無しても危険 です。

網を設置すると、手間いらずで10年以上の間ハブを捕獲でき、危険を減らせます。

網は侵入防止用でなく捕獲用で、小型を数メートル間隔で設置。責任は利用者が持ちます。

家庭用の長さ約7m分の網は、無料で入手できます（説明書付き）。

この網を約1mづつに切り、枠に張って用いると、使いやすくハブが捕れやすいです。

枠のワイヤーメッシュは中古でもよく、利用者が準備してください（枠無しでも設置可）。

1. 郵送による入手

（網と説明書が返送されてきます）

〒901-0611 富里285-3 西村方

ヘビ対策ボランティア あてに94円分の切手を郵送

94円は封筒お任せの場合で、大型封筒なら140円分

2. 直接の入手

1) 一部の日曜大工店にて

2) 数カ所の役場（ハブ担当課）にて（事前の確認を）

施設や数世帯を対象に、設置指導も可能です。

その他の対策法も含んだ詳細：右のホームページ内に <http://snakehabu.web.fc2.com/>

または単行本：「詳しいハブ対策一気づかない危険の回避を永遠にー」 新星出版

長さ50mあまりの網は 一部日曜大工店で販売。 事前に電話などで在庫の確認を。

ご質問は西村まで： 電話：090-3792-9633 メール：gnmmftym@sky.plala.or.jp

ハブにくいこんだ網



ワイヤーメッシュ利用の **小型刺し網** は、設置と移動が容易で網も安定し、ハブの捕獲率が高い。下は長さ60cmの小型で捕れたハブ（道の横の林内に立てていた網を棒で取り出す）。



刺し網の設置地点3通り
基本は林縁部
人通りがあれば林内
<L字型は倒れにくい>

③ 屋敷, 畑

子供がいない
庭など

① 林縁

② 林, 草地

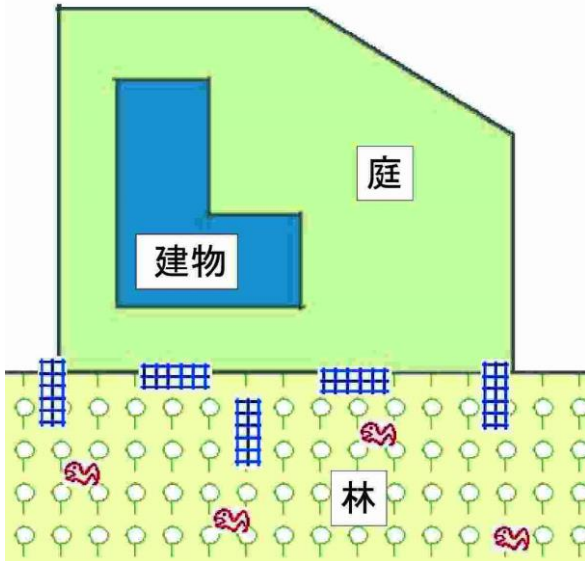
<効果が大きい地域のハブ対策専門家の養成にも、無償協力。連絡は上記携帯まで>

屋敷や農地の周囲における小型刺し網の設置地点例

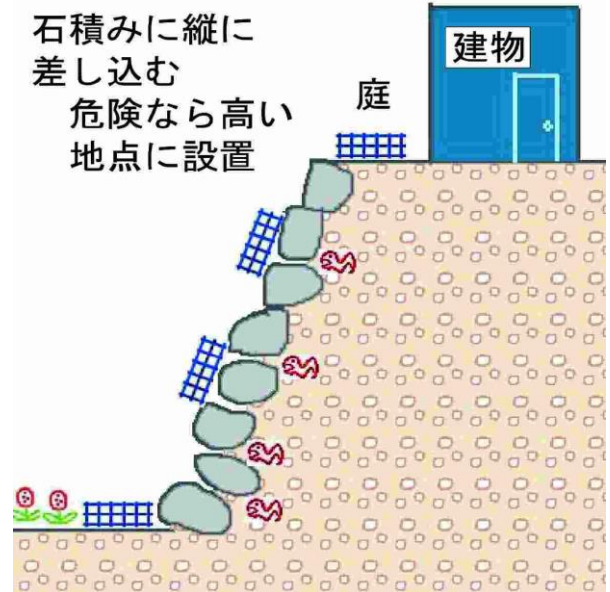
(格子:設置地点)

201211

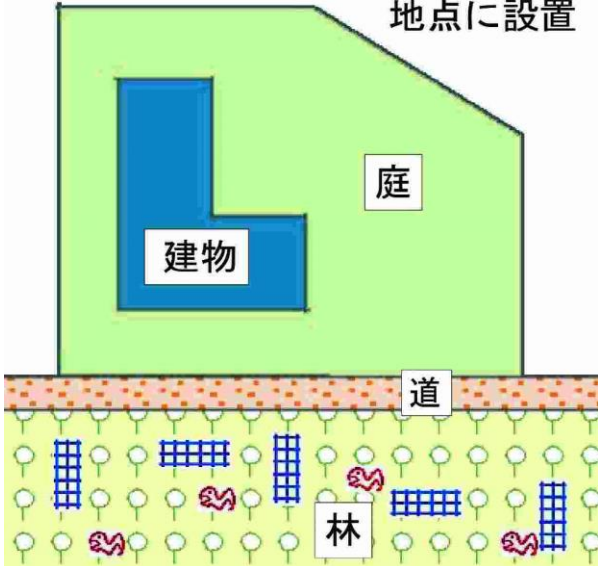
基本は屋敷と林との間に設置する



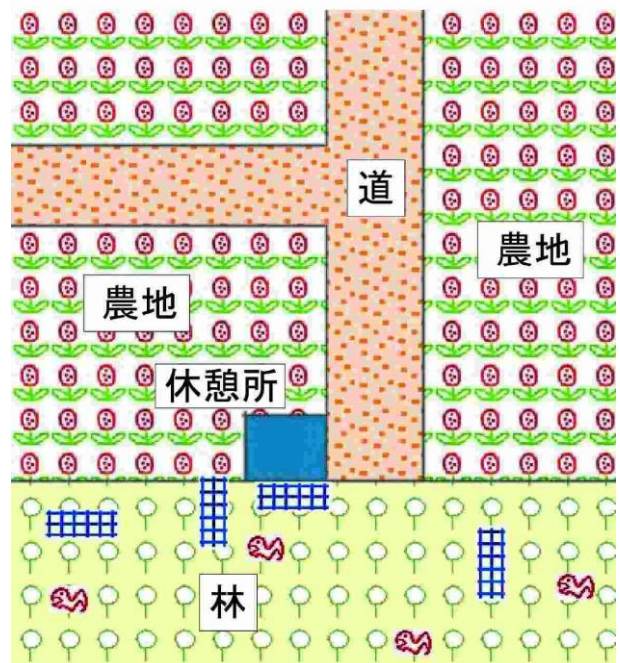
石積みに縦に
差し込む
危険なら高い
地点に設置



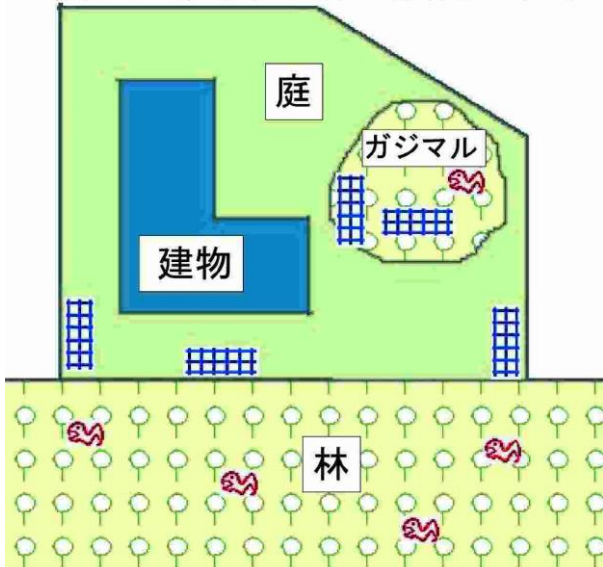
道があれば林に数メートル入った
地点に設置



農地と林との間に設置する



子供がいなければ庭に設置できる



長さ60cmの小型で捕れたハブ
(網は道横の林内に立てていた)



刺し網を入手していただいた方々へ

＃

201904

ハブ対策用に刺し網を入手いただき、ありがとうございます。

配布にあたり、捕獲成績はご連絡いただかなくてもよいとのことでしたが、捕れた事例や、捕れないというお話を、お聞きしております。

配布時の説明や取説にて、長さ6～7mの網から、長さ1m前後のものを5、6枚、できるだけワイヤーメッシュを利用して作ることを、お勧めしました。網をワイヤーメッシュに張るコツを裏面に記しました。最適な設置地点は、屋敷や畑の近くの林内の暗い樹の下で、雑草が少ない地点です。設置は数メートル間隔です。配布分の網を設置すると、ハブが1年間に1、2匹捕れるとの予想を示しましたが、「捕れない」と判断し、設置を止めた方もいらっしゃいます。以下に説明しますように、邪魔でなければ **設置の継続を** お願いいたします。

----- 「ハブが捕れない」 場合 -----

以下のことを、確認またはご理解下さい。

1. 小型刺し網なら5枚以上を、適切に1年間利用されましたか。

倒れた網があったり、数ヶ月間の利用では、不十分です。

2. ハブの骨は見つけにくいです。

大きいハブでも死後まもなくばらばらの小さい骨となり、草や枯葉に紛れるとまず見つかりません。網の下の骨を探してみましよう。

3. ハブの捕れ方には、むらがあります。

例えば「1年で1匹以上」は平均値で、以下のような例が予想されます。

例：10世帯で10匹捕獲（平均は1匹）でも、1世帯が3匹、2世帯が2匹、3世帯が1匹、4世帯が0匹捕獲。

1年目に捕れなくても、2、3年後に初めて捕れる場合もありますので、移動させながら3年間以上はご利用ください。



ハブの背骨。これが残らなければ捕獲に気づかなかつた。
(枯葉下に全身分の骨あり)

普及のため、ハブが 捕れば知人やマスコミ等に 知らせて下さい。

質問やご意見を、電話・郵便・メールにて頂ければ、改良につながります。

担当（西村） 電話 090-3792-9633

メールアドレス gnummftym@sky.plala.or.jp

郵便は 〒901-0611 南城市玉城富里285-3 西村方

ヘビ対策ボランティア

以下のホームページ内に、ハブ対策法の詳細を掲載しています。

<http://snakehabu.web.fc2.com/> （「snakehabu」でヒット）

単行本もあります、「詳しいハブ対策」 新星出版。

よろしくお願ひいたします。

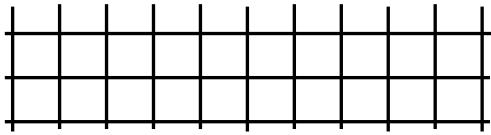
ヘビ対策ボランティア 西村

<効果が大い地域ハブ対策専門家の養成にも、無償協力>

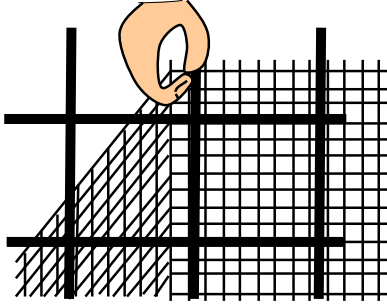
網をワイヤーメッシュに張るコツ

201507

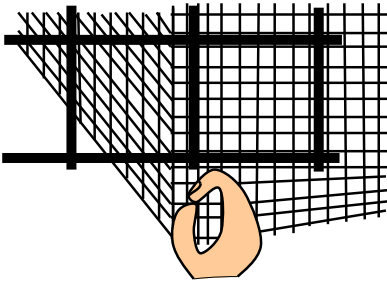
1. 作業は漁網が見やすい色の地表で
地表の凸凹は好都合、ボタンが少ない服装で



- ← 2. 地面にワイヤーメッシュを寝かせる
地面に刺す突起が長いほうがよく、その場合は
ワイヤーメッシュを上下逆に置く
(図は長さ150cmで上部が長い突起の例)

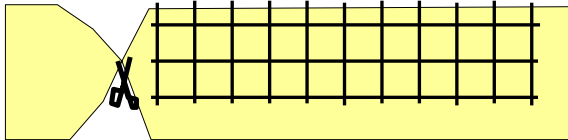


- ← 3. ワイヤーメッシュに網をゆるく掛けていく
作業は寝かせたまま右上から左上へ
突起に長短がある場合は、長い方からとなる
網は端でなく、端から数目を掛ける



- ← 4. 軽く引っ張りながら、下側の突起に掛ける
右下から左下へ
網の目がゆるく開くように

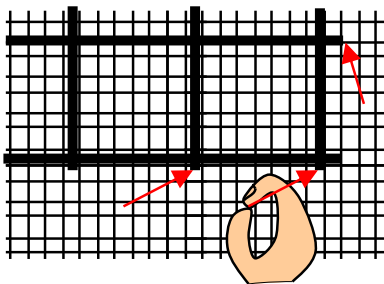
- ← 5. 左端で、網を10cm程度余らせて束ねて切る



- ＜網幅が広い場合は再度上側の突起に掛け2重に＞
網を半回転すると、2重になる
最後に掛ける側の突起が長い場合は、網を強めに
引っ張りながら掛ける

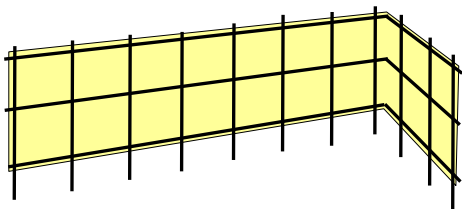
6. 左右の端をワイヤーメッシュの突起に掛ける

＜余分な網は切らなくてよい＞



- ← ＜ワイヤーメッシュの端で、網がたるんで隙間が目立つ場合は、はみ出た網を強く引っ張り隣の突起に掛け、隙間を小さくする＞

7. 網張後のワイヤーメッシュは重ねない
絡まり合うため



- ← ＜ワイヤーメッシュはL字に立てると倒れない＞
長めの1枚を曲げるか、短めを2枚繋ぐ
倒れていないことの確認が不要となる
立てる際に岩や根にあたる突起は、ペンチ等
で曲げ、無理に刺さない

小型刺し網に用いるワイヤーメッシュの切り方など

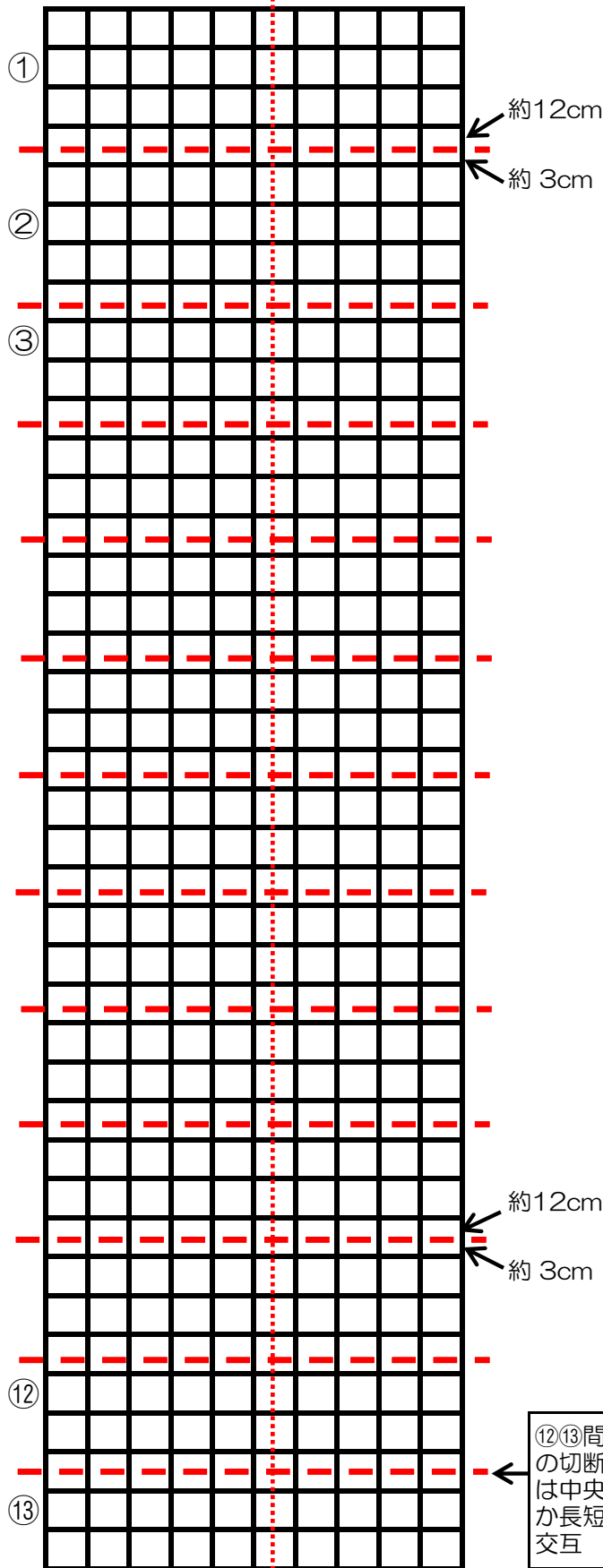
<設置後の責任は利用者が持つ>

201507

6m×1.5m 15cmのマス目
(針金の径は4mm)
(1軒分は6mの4分の1で足りる)

ここでは左の規格で説明するが、マス目が10cmや20cmのもの、また完品でない中古のメッシュも利用できる。網を掛ける突起は短めでよいが、地面に刺す突起は長めにする。

すべて切ると26枚とれ、原価は最高で1枚200円弱。施設等では13枚に切る。



6m(40マス分)は2マスと3マスに切る。

(マス目10cmでも2マスが基準)

地面に刺す突起を長くするため、切断部は中央ではなく、突起に長短を付ける。

15cmのマスを、11cmから12cmと、4cmから3cmに分ける。

4cmから3cmは、網を掛けるために残す突起

最後はマスの中央で切る(突起は7.5cm)か、1本置きに長短を逆にする。

1. 5m(10マス分)は6マス目の中央で切る。

左は5マス+突起

右は4マス+突起 となるが、施設等で長めがよければ、1.5mのまま用いる。

26枚分とった場合、およその原価は

メッキ有りで $4400/26 = 170$ 円

メッキ無しで $2800/26 = 110$ 円

切断の結果以下のような枠がとれる。

(サイズは突起を含まない)

1. 短い枠 長さ:60cmか75cm

幅 :30cm(少数は45cm)

網は、長さ約90cmから100cm、幅約60cmから70cmの25mm目のものを1重か2重に緩く張る(突起に掛ける)。

2. 長い枠 長さ:150cm

幅 :30cm(少数は45cm)

これに張る網は、長さ約180cm、幅約60cmから70cmの25mm目のもの

<網を張ったメッシュは互いに絡まりやすい>

現場では、長い方の突起を地面に刺す。

<人通りのある場所は避けること>

石積みの崖面に垂直方向に差してもよい。

倒れやすい場合は、

小さい木に上部を結び付ける。

1枚をくの字型かL字型に曲げて刺す。

2枚をT字かL字型に固定する。

<網は3~10m離して設置>

年に1, 2回枯葉等を掃除 (同時に骨を探す)

⑫⑬間の切断は中央か長短交互